

名古屋市高齢者就業支援センター 講習受講者募集中!

◆実施している講習

10月募集 (11月実施) ☆ **申込期間** 10/1(月)～10/22(月)

- ・子育て支援者養成講習
- ・介護職員初任者研修
- ・パソコン/P検3級試験対策講習
- ・ホームページ作成入門



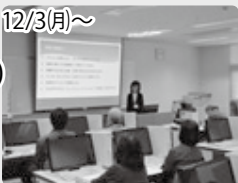
11月募集 (12月実施) ☆ **申込期間** 11/1(木)～11/20(火)

- ・警備スタッフ養成講習
- ・傾聴講座
- ・レッツ!シニアの調理
- ・パソコン/デジタル写真(基礎)



12月募集 (1月実施) ☆ **申込期間** 12/1(土)～12/20(木)

- ・はじめてさわるパソコン
- ・パソコン/ワード(応用)
- ・同行援護従業者養成研修(一般・応用課程)
- ・全身性障害者移動介護従業者養成研修
- ・警備業界シニア就職フェア



1月募集 (2月実施) ☆ **申込期間** 1/1(火)～1/21(月)

- ・竹工作教室
- ・講演会
- ・パソコン/入門
- ・パソコン/P検準2級試験対策講座
- ・介護業界シニア就職フェア



※各講習の詳細開催時期・対象者・受講料などは講習によって異なります。詳細についてはお問い合わせ下さい。

◆名古屋市高齢者就業支援センター

(指定管理者:名古屋市シルバー人材センター)
〒466-0015 昭和区御器所通3丁目12-1

- ◎ ホームページアドレス: <http://www.bes-c.com/>
- ◎ 就業相談窓口(土日祝日除く9時～17時)
- ☎ 842-4692

問い合わせ先
☎ 842-4691

まずは
お気軽にお電話
ください

呼吸器なんでも相談のご案内(無料)

ちょっとした動作で息切れや息苦しさを感ずるなど、呼吸器のことで気にかかること、心配なことがありましたら呼吸器なんでも相談どうぞ!

- ◆受付時間/ 13:15～13:45
- ◆対象者/ 市内在住の15歳以上の方
- ◆場所/ 南保健センター(南区東又兵衛町5-1-1)
- ◆内容/ ①問診 ②身長・体重測定 ③胸部エックス線検査
④肺機能検査 ⑤診察・個別相談
- ◆費用/ 無料

～すべて予約制です～

平成30年 9月18日(火)・10月16日(火)・11月20日(火)・12月18日(火)

申し込み先 南保健センター公害保健担当 ☎(614)2879 FAX(614)2818

第15回 名古屋市老人福祉施設作品展

趣 旨

名古屋市老人福祉施設協議会の会員および名古屋市内にあるその他の入所介護施設、通所介護施設等において、作品展に参加を希望する全ての施設利用者や職員の作品などを展示することにより、これら文化活動を通じて、作品を制作する喜びと生きがい作りを推進するとともに、老人福祉事業の一環としての活動を、地域や市民に広く認識してもらうことを目的とする。

観覧期間 11/7(水)～11/11(日)
9:30～18:00(最終日は16:00まで)

会 場 名古屋市民ギャラリー矢田
〒461-0047 東区大幸南1丁目1-10
☎719-0430 FAX719-0440

開催事務局 軽費老人ホーム 名古屋市緑寿荘
名古屋市守山区小幡北1902
☎793-6151 FAX792-7043

入 場 無 料



認知症と間違いやすい症状

認知症とせん妄

千種区認知症地域連携の会

池下やすらぎクリニック 院長 上松 正幸

【症例】

70歳、女性、

アルツハイマー型認知症

出血性胃潰瘍があり入院した。当日、緊急手術を行った。術後5日目のことである。前夜より不眠の傾向がありベッドから降りようとする行為が繰り返された。明け方になりようやく眠り始めた。

認知症の人は環境が変わると環境不適應によって症状が悪化したように見えることがある。この症例のように環境が変わって手術前まで問題になっていなかったことが急激に問題になる場合にはせん妄が疑われます。せん妄の場合には物忘れのように何度言われても同じ行動をすることがありますがこれは意識障害が原因であるため落ち着けるようにし、簡潔明瞭に伝えることが重要です。

せん妄の特徴は、①起始が明確で何日の夜からと特定できる特徴があります。また、②夜に増悪することが多く、夜間せん妄ともいわれます。③注意力が散漫となり意識障害と幻視および不穏な行動などです。せん妄対策は医療上の重要な課題です。予防的手段としては、環境調整、日中の散歩に努め睡眠・覚醒のリズムを維持する、部屋の明るさを調整、時計やカレンダーを置く、家庭的な雰囲気を保つ、可能な範囲で家族や友人の面会時間を増やす、騒音を減らす、一度に多くの刺激を与えない、良好なコミュニケーションを保つ、水と電解質バランスなど良好な全身状態を保つよう努めましょう。

種々の対処を行っても改善がみられない場合や医療や看護に支障が大きい場合は、専門医と相談し、鎮静目的で対症療法として少量の抗精神病薬を投与することもあります。第1選択薬として抗コリン作用の少ないハロペリドールやチアプリドが使用されます。

せん妄状態にあると、自分の状況がわからず、興奮して暴れる、転倒するなど危険があるため認知症の人の安全を確保することが最優先になります。また、質の良い睡眠を得ることで症状が軽減することもよくあります。せん妄の原因となる身体状況、治療状況、生活リズムや認知症の人を取り巻く環境を見直して改善していくことでせん妄状態の緩和につながります。状況に応じた対応が必要です。

せん妄と認知症の臨床的特徴

	せん妄	認知症
発 症	急激	ゆるやかに
日 内 変 動	夜間や夕刻に悪化	変化に乏しい
初 発 症 状	錯覚、幻覚、妄想、興奮	記憶力低下
持 続	数時間～1週間	永続的
知 的 能 力	動揺性	変化あり
身 体 疾 患	あることが多い	時にあり
環 境 の 関 与	関与することが多い	関与ない

郵便はがき



書き損じはがき
キャンペーンスコットの「はがきちゃん」

「世界寺子屋運動」書き損じはがきキャンペーンにご協力いただきまして誠にありがとうございました。市老連会員の皆さまから寄せられた書き損じはがきは2744枚と切手5枚で、お金に換算すると11万5556円相当でした。

書き損じはがき
キャンペーンの
協力のお礼